

令和 2 年

第 2 回 教育委員会 臨時会

議 事 録

佐 渡 市 教 育 委 員 会

令和2年 第2回 定例・臨時 委員会 議事録			
委員会 日程			会場
開会日時	令和2年2月14日 午前・ 後 3時36分		佐渡市役所 3階 大会議室
閉会日時	令和2年2月14日 午前・ 後 4時15分		
延会日時	平成 年 月 日 午前・後 時 分		
出席者		欠席委員	会議録署名委員
教育長 渡邊 尚人			仲川 正道
1番委員 佐藤 辰夫			中村 友子
2番委員 仲川 正道			
3番委員 中村 友子			
		4番委員 信田 恵子	
説明のため出席した職員			
教育総務課		社会教育課	
課長	渡邊 裕次	課長	粕谷 直毅
課長補佐	高野 久之		
総務係長	飯田 誠		
学校教育課			
課長	山田 裕之		
管理主事	濱田 晴明		
傍聴人	有 無		
報告の要旨	「議事の概要」のとおり		

会議で行った選挙の結果			
なし			
会議に付議した事件の題目			
協議事項	1 佐渡市教育大綱及び佐渡市教育振興基本計画（改定案）パブリックコメントについて 2 令和2年度教育行政方針について		
次回会議開催日			
採決の結果及び可否の数を計算したときは、その数			
なし			
請願、陳情	<table border="1"> <tr> <td>有・無</td> <td>有の場合、別紙のとおり</td> </tr> </table>	有・ 無	有の場合、別紙のとおり
有・ 無	有の場合、別紙のとおり		
その他必要と認めた事項			
特になし			

【議事の概要】

<p>・ 渡邊教育長</p> <p>・ 渡邊教育総務課長</p> <p>・ 渡邊教育長</p> <p>・ 佐藤委員</p>	<p>◎本臨時教育委員会は、午後3時36分から開催した。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ただ今から令和2年第2回佐渡市教育委員会臨時会を開催いたします。・ 初めに、日程第1「議事録署名委員の指名について」ですが、本日の署名委員は佐渡市教育委員会会議規則第18条の規定により、仲川委員と中村委員の2名を指名いたしますので、よろしくお願ひします。・ 日程第2「協議事項」に移ります。・ 協議事項1「佐渡市教育大綱及び佐渡市教育振興基本計画（改定案）パブリックコメントについて」、事務局の説明を求めます。 <p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育大綱及び教育振興基本計画に係るパブリックコメントについて、1月6日から2月5日までの1か月間のパブリックコメントで3名から8項目の意見があり、それに対する市の考え方を報告する。・ 「佐渡市将来ビジョンができていないのに教育振興基本計画を先行してもよいのか」という意見については、佐渡市将来ビジョンの基本構想部分が議会の議決事項になり、3月末までの策定が極めて困難なことから、企画課の指示に基づき「佐渡市将来ビジョン」という言葉を「市の最上位計画」という言葉に置き換えました。・ また、「幅広い年代」という表記を「あらゆる年代に」、施策15の博物館等については、文化施設へ入館した「割合」から「人数」に変更しました。・ ご意見、ご質問をお願いします。・ 「家庭・地域の教育力の充実」のうち、「学校運営協議会制度について大いに活動してほしい」という意見はどのような意図を指したのか。教育委員会としての解釈を聞かせていただきたい。・ また、学校運営協議会の人選を「元教師は極力抑えて、市民から広く応募をしてもらう」との意見について、どのように受け止められるか。・ それから、小学校からのプログラミング教育導入について、「環境づくりが大切と思われまふ」という意見に対して、佐渡市の考え方として「プログラミング教育を含めた」という言葉を具体的に添えています。私はプログラミング教育が新しく始まるという発想はもっていないんです。プログラミング教育の目的は考える力とか思考力をつけるということであつて、技能的なもので付随してつくかもしれないけれど、それは主たるものではないと文科省は言っています。そういう中で、プログラミング的思考をつけていかなければいけないと。具体的には国語や算数などの科目、それから日常生活、社会でのあらゆる場面で生かすことができる洞察力というか、そういった力、探求課題に向かつていく力なのだと考えています。私は、少なくともこの場所に入れることはないのかなと思ひました。・ それから、「ICTの導入」の「の」を抜いて「ICT導入」としてありますが、あつても良かったのかなと逆に思ひたのですが、意見です。
---	---

<p>・ 渡邊教育長 ・ 山田学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピューターが入った頃、理科センターなどにもロゴライターがあつて、コンピューターのプログラムを組むことでタートルを自由に右、左と操作をして、物理的に物を動かす、あるいは画面上で、場合によってはロボットを動かすものがありました。最近ネットなどを見ても、佐渡市にもプログラミング教室という民間の全国的な組織が立ち上がっています。ロボットをロゴブロックみたいなので作って、それにモーターをつけて思うように動かしていくという教室もできたようですが、そのような捉えではない気がします。学校の活動そのものがガラッと変わりますので、例えば総合的な学習の時間にパワーポイントでこのように画面を作って、このように説明していくと皆さんに分かりやすいとか、学習したことが伝わるとか、プレゼンテーションなどもプログラミングの一環であるというように事例として上げているようです。そういう意味で、「プログラミング教育を含めた」という文言をあえて入れる必要があるのかなと思ったのですが。 ・ 学校教育課長、いかがですか。 ・ 1点目です。学校運営協議会制度について大いに活動してほしいというところは、「期待をしています」というように私は読みました。 ・ 2つ目です。「元教師は極力抑えて、市民から広く応募に応じてもらう」ということについては、私はそういう制約を一切つけてはいけなく考えています。教師を入れないとか、広く公募するとか、地域にとってどういう学校運営協議会制度にするという目的とか狙いがあった上で、こういうスタッフに入ってもらいたいということがあると思うので、「地域人材を積極的に活用しながら」という言葉にしています。学校関係者だけで作ってくれるなという意味だとは思いますが、地域の人材がもっといるとは思っていませんし、学校運営協議会はそもそも教師だけ集めて何とかしようと思つてうまくいく組織ではないということは、ここまで研修をしたり、進めてきている人間はみんな知っていることですので、そういう組織にはならないだろうということも含めて回答を書いたつもりです。 ・ プログラミング教育のご意見に対するこの入れ込みですが、私が非常に悩んだところを言い当てていただき、大変ありがたいと思っています。ただ、今回の学習指導要領の中で初めて出てきた言葉であり、そういう意味での用語としての目新しさは、一般の方にしてみればあるのかもしれませんが、情報教育という言葉の中に当然プログラミング教育は含まれておりますし、佐藤委員が言われたように、コンピューターを直接プログラムする手法を学ぶ教育ではなくて、例えば国語の時間だって情報教育について触れなければいけない時間はありますし、理科、数学、それ以外の教科にも当然あるわけなので、どの教科も横断的に行うのが情報教育でなくて、その中に当然プログラミング教育も入れ込む発想でおります。「情報教育の推進」という言葉の中に全て含めておりますと回答して変更しないのも一つの方法と思つたんですが、あえてこれを入れ込んで提案してみて、今のご意見が当然出るだろうと思つていたのも、もしここで、要らないというようになれば、削って
-------------------------------	--

<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤委員 	<p>いただくことについて私は異を唱えるものではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。私は、これが入ってはいけないということはないし、この認識はもっていなければいけないと思っています。ただ、学校の先生方に対して、学校現場に下ろすときには、物理的な、力学的な物の動かし方とか、そういうことではなくて、あくまでも子どもたちに探求的思考をつけるための教育なのだということを付け加えていただければ、私は、かえって認識する節目としたいということであればいいかと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・山田学校教育課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作文をした立場からすると、この「プログラミング教育を含めた」という文言を入れ込むことによって若干この文がくどくなるという部分は非常に感じておまして、もし許していただけるのであれば削除してもいいのかなというのが私の考え方です。最初の言葉の方がずっとスマートでスムーズだという感じがします。
<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤委員 ・渡邊教育長 ・佐藤委員 ・渡邊教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・そこは担当者の方にお任せします。 ・お任せでよろしいのでしょうか。 ・別にこだわることではないです。 ・では、私の方から意見を言わせてもらいます。これについては、新しい学習指導要領の目玉でもありますので、この言葉は尊重した方がいいのかなと思います。意味については今言われたとおりですので、そのように学校現場に以前から周知はしております。私も文書でいろいろ書いたところにそういうのも入れましたので、しっかりとまた伝えていきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ よろしいでしょうか。 ・ 少し概念的な問題なのですが、新しい佐渡市の考え方では情報教育の中にプログラミング教育があるのですね。
<ul style="list-style-type: none"> ・渡邊教育長 ・仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解釈は非常に難しいと思いますね。 ・ 並列であればいいが、この集合体の中にプログラミングが含まれてしまうとなると違う。
<ul style="list-style-type: none"> ・渡邊教育長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全部のプログラミング教育じゃなくて、その一部が情報教育に含んでいるという意味だと思いますが。
<ul style="list-style-type: none"> ・山田学校教育課長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私はプログラミング的思考というところがプログラミング教育の肝だと思っていて、今後はそれも含めたものが情報教育の中にといい方ていくのかなというイメージをもっていたもので、情報教育という言葉もこれまでよりはストライクゾーンがまた1つ広がっていくのかなと。思考的なものも含めた情報教育、リテラシーとか、情報メディアコントロールとか、そういうところだけでない、いわゆる考え方も含めた情報教育。
<ul style="list-style-type: none"> ・仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ それが恐らく正解でしょう。「プログラミング教育を含めた情報教育」という言い方になると集合体の中に入っている。リンクしている関係がどうやって表せるかということで、文章はくどくなるけれど、「情報教育とプログラミング教育を推進し」とすれば、少しは元の概念が生きてくるかと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭科の時間に御飯をこれから作りましょうと言って炊飯器の電源を入れて御飯ができ上がる。ホームベーカリーは、小麦とイースト菌を入れて、

<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡邊教育長 ・ 佐藤委員 ・ 渡邊教育長 ・ 委員全員 ・ 渡邊教育長 ・ 仲川委員 ・ 粕谷社会教育課長 ・ 仲川委員 ・ 粕谷社会教 	<p>水を入れてやるとできる。一体これはどうだろうと。結局炊飯器の場合その認識がプログラムされています。ところが、そういうものについて今や誰も認識して、考えながら使っている人はいないわけですが、あえて家庭科の調理の時間、活動の中でそういうものを子どもたちに、家の人から聞いてきて、おいしい御飯の炊き方を事前に調べてみようというのも1つ活動に入れるだけでもプログラミング教育だと考えるのです。何でもそうです。テレビがなぜ映るのだろうかとか、スマホが何でこういうようにできるのだろうかとか、もう切りがありませんが、その題材はありとあらゆるところにあるわけで、そういったことを各教科、領域等で考えさせる活動があればプログラミング教育だと私は思っているのですが、ぱっと読んだときにあえてこれは要らないのかなと感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少し文言の言い方が難しいところもありますけれど。 ・ あまりこだわりません。 ・ あまりこだわらないということで、原則このままで思っております。 ・ 今の進行方法で、ページごとに聞いていきますが、よろしいですか。 ・ 異議なし ・ では、2ページ目ご意見ありましたらお願いします。 ・ 今回のパブリックコメントで一番気になったのが、2ページ目の公民館長の公募です。ほかの市町村でもやっているところがあるのですが、それほど一気に広がっているという感じもない。公民館長の活動について佐渡市の中で特に現行の体制がよくないという意見も聞いたことがない。佐渡市の考え方として、今後の検討課題とすることでいいと思いますが、公募制についてはどう考えているか、教えてください。 ・ 佐渡市の公民館長は社会教育課長になるのですが、地区公民館長は地域から選ばれた方を教育委員会でご報告して認めていただいているということで動いています。あとは、その下の分館長につきましても、地域で選ぶという形をとっています。 ・ 私が思うところでは、やはり公民館活動というのは地域から盛り上がってくる、そういう活動のもとに成り立っているものですから、やはり今のままが本来の姿なのかなと思っておりまして、ただしその一番トップである社会教育課長である公民館長を公募にするということであれば、これも一つの選択肢ではないかなと思っております。 ・ 仲川委員おっしゃったように、ほかの自治体がどうなっているかというのと、特に大きい市町村になってきますとコミュニティーセンターとか、そういった施設を地域の方に広めていきまして、地域の活力で公民館活動を行っていくところが最近増えてきているように思います。佐渡市におきましてはもともと地域の活力で行っているところがあるものですから、そういった面では同じなのかなと思っております。 ・ 興味を示しているという意味ではないのですね。 ・ そこまでの考えは、今のところございません。
--	--

<p>育課長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲川委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コメントの文章の問題でいうと、「公民館長の人選は、21世紀にふさわしくない」と、非常に主観的な言い方で、何がふさわしくないのかが分からない。本当にこれが検討課題なのかどうなのか、様子を見てください。
<p>・ 粕谷社会教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ はい、ありがとうございます。
<p>・ 佐藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2ページの図書館の最後の文章ですが、「真野の図書館を学校が大いに活用してほしいです」ということで、近くの真野中、真野小が活用してほしいとの意味が少し納得できない。学校のそばに図書館を併設というか、隣接させることによって教育効果を上げるとか、地域の人が集まってくるとか、そういうイメージをもっていたので、意味が全く読めないんですが、具体的にはどういうことでしょうか。
<p>・ 粕谷社会教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私も想像するところではないんですが、やはり学校と図書館がある程度連携しながらという意味合いでおっしゃっているのかと考えました。そういったところを踏まえて、「学校等の関係機関と連携しながら利用しやすい図書館」ということで書いています。
<p>・ 山田学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校にも図書室があります。そして、ここ数年、学校図書館事務職員という司書になる方の役割をしてくださる方を入れたこともあり、蔵書のラインナップとか、あと整理整頓とかもかなり以前のイメージとは変わって、すばらしい図書室が経営されていますので、まずは学校としてはその図書室でしっかりいろいろな活用をしていただくというのが基本だと思います。ただ連携とか、町の図書館、図書室の活用というのを考えたときには、いわゆる国語の時間でも図書館の勉強をする単元があるのですが、要するに01番というのが何という図書の区分になってというのがあるので、例えば図書室の方に、地域の図書館に出かけて行って、司書の人からそういうことについて専門的なことを1時間学んで帰ってこようという活用はできるかと思いません。 ・ 真野の図書館は真野小中学校から徒歩圏内ですので、そういう意味では活用はできると思いますが、真野に限ってということではない。両津の図書館もとてもすばらしいがあるので、ぜひ両津小学校の方が来て今のような活動をしてくださいということで学校には今働きかけて、実際にやってくださっている学年もあるので、そういうことは大事かと思えます。 ・ あと、マナーとか、図書館といたら静かにしないといけないというのは、学校の図書館ではなかなか分からないことだと思うので、そういうことも学ぶ場ではあるかと思えます。
<p>・ 濱田管理主事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 真野の図書館について現状だけ申しますと、小学校の隣が図書館になっています。 ・ それから、真野小学校の図書室は、教育委員会の職員が行っていて充実していますし、ボランティアも充実していて、図書室の本を借りる率が高く、ほかの学校からもその様子を見に来るぐらいです。学校の図書室が充実して

<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤委員 ・中村委員 ・山田学校教育課長 ・中村委員 ・山田学校教育課長 ・渡邊教育長 ・委員全員 ・渡邊教育長 ・渡邊教育総務課長 	<p>いるというのも一つ理由があって、図書館も近いですが、行かないというわけではないが、利用率が少ないということも考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうございます。 ・ 図書室に先生、司書に代わる方がいることで、図書、お薦めの本だったり、いろいろなポップができたり、新しい本が入りましたという紹介があって、すごく図書室を利用するようになりました。そして、図書室で本を借りる人も増えているという話です。そういう学校の図書室を子どもたちのために工夫していることを佐渡市の考え方のところに入れていきますか。真野の図書館を活用してくださいとありますが、学校でもそういう工夫をして、学校の図書室を大いに活用できるように改善していますというコメントも一緒に載せたらどうですか。 ・ 回答のところですね。 ・ せっかく活動をしているのに、何かこれだけだと簡単に終わってしまうので、活動しているところを表に出すといいかなと思います。 ・ ただ、先ほどご意見もあったように、この方のご意見のこの真意どこにあるのかというのが読めないの、あまり踏み込んだ回答をするよりは一般的な回答で終わってもいいのかなという考え方ももっています。 ・ では、3ページ目ご意見ありましたらお願いします。 ・ 質疑なし ・ 質疑なしと認めます。 ・ なお、佐渡市将来ビジョンの今後の進捗状況を注視しながら、本計画は3月末に一旦暫定版として取りまとめる可能性があるということについて、あらかじめご了承をいただきたいと思います。 ・ 次に、協議事項2「令和2年度教育行政方針について」、事務局の説明を求めます。 ・ この後の議会で、今のところ2月28日招集予定ですが、市長による施政方針演説が行われる見込みとなりました。 ・ つきましては、教育長による教育行政方針も同じタイミングで行いたいと思います。その原稿について、17日、来週の月曜日ですが、総務課に送付するという指示が急きよ、ありましたので、本日の教育委員会で確定をさせていただきたいと考えております。 ・ なお、中身につきまして、2月7日現在ということでお示したこの教育行政方針について説明いたします。 ・ 1ページの「はじめに」と、最後の9ページの「おわりに」を除く2ページから8ページにつきましては、教育振興基本計画の6つの基本目標をそのまま記載しております。パブリックコメントを受けて今ほど審議いただきました文言の修正をした部分につきましては、こちらの教育行政方針の文言も併せて朱書きで変更しております。先ほどの協議事項1のところで文言についての修正はなかったというように認識しておりますので、この案で確定
---	---

<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡邊教育長 ・ 渡邊教育総務課長 ・ 渡邊教育長 ・ 委員全員 ・ 渡邊教育長 ・ 委員全員 ・ 渡邊教育長 ・ 委員全員 ・ 渡邊教育長 ・ 委員全員 ・ 渡邊教育長 ・ 委員全員 ・ 渡邊教育総務課長 ・ 渡邊教育長 	<p>をさせていきたいと考えておりますが、ご意見をいただきたいと思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なお、9ページの「おわりに」の中で赤書きになっている部分がありますが、ここは従前、「昨年佐渡市教育委員会は文部科学大臣から表彰を受けた」という記載になっておりましたが、実際に昨年表彰を受けて受賞し、受賞式が1月になったということで、年度と年と非常に取扱いに誤解を招く可能性があるため、「このたび」という文言に変更しました。 ・ それから、八幡小学校がコミュニティ・スクールに関する大臣表彰を受けたということで、「佐渡市教育委員会」ではなく、「佐渡市」という形に変更しました。 ・ あと1点、「子どもたち」という部分は、「供」を平仮名にということで前回指摘を受けた部分について直しました。 ・ よければこれで確定をさせていただいて、月曜日には総務課に送りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。 ・ 八幡小学校コミュニティ・スクールが地域学校協働活動について表彰されたということですね。 ・ そうです。佐渡市教育委員会と、県立ですが、佐渡中等教育学校がキャリア教育の表彰を受けたということです。 ・ では、1ページ目、「はじめに」についてのご意見いかがでしょうか。 ・ 質疑なし ・ 次、2ページ、3ページということで、基本目標1と基本目標2についてご意見ありましたらお願いします。 ・ 質疑なし ・ では、4ページの基本目標3、そして5の基本目標4についてご意見がありましたらお願いします。 ・ 質疑なし ・ 6ページの基本目標5、そして最後のページを開いて8ページ、基本目標6についてご意見がありましたらお願いします。 ・ 質疑なし ・ では、最後の9ページ、「おわりに」というところでご意見がありましたらお願いします。 ・ 質疑なし ・ では、全体を通していかがでしょうか。ご意見、ご質問等あったらお願いします。 ・ 質疑なし ・ では、今ほどこれでよろしいということでしたので、実際に出すのは、表紙のところ、令和2年2月7日現在と、これは削除します。それから、(案)をとります。あと、朱書きの部分は黒書きに変更させていただきます。 ・ ありがとうございます。ただ今の教育行政方針は、今月の28日招集予定の市議会本会議で朗読することになります。 ・ それでは、日程第3、次回開催日について、事務局の説明を求めます。
---	---

<p>・渡邊教育長</p>	<p>【2月21日金曜日午後2時30分から佐渡市教育委員会定例会を開催すること、また3月の定例会を3月23日月曜日午後2時30分から佐渡市教育委員会定例会を開催することを提案し、各委員の都合を聞いて調整した。】</p> <p>・ 以上で令和2年第2回佐渡市教育委員会臨時会を閉会いたします。</p> <p>午後4時15分終了</p>
---------------	--